

ヨド物置 エルモ シャッター

連棟型〈床タイプ〉組立説明書 LOD(S)-2525HF型・2529HF型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
 また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。
 ※この組立説明書は2529HF×2連棟の図で説明しています。3連棟以上の場合、2525の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)

●設置場所の制限

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速:東上による陸など)にあわせて設計・施工してください。

1.建物の上には設置しないでください。
 2.バルコニー等の避難経路にあたる場所には設置しないでください。
 3.大風や大雨の吹き寄せ、雷降物の恐れに落ちる場所には設置しないでください。
 4.道のカーブ、崖の強い傾斜等の危険な場所には設置しないでください。
 5.給排水の前には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

1.アンカー工事等の事前防止工事を必ず行ってください。
 2.部材は、全て組立てる前まで手を切らないようご注意ください。
 ※安全のため必ず手袋を着用してください。
 3.組立材料、梱包の裏面に記載の取組方法に従って行ってください。
 4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないよう注意してください。
 5.風の強い日や雨の日は、組立作業を避けてください。
 6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

●施工時の注意点

1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
 2.部材の共通化のために、実際には使用しない乳の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
 3.部材名称の左-右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 ※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取付けてください。
 4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなかった場合は、ボルトをゆるめる、孔位置を合わせてください。
 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
 6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。

●組立に必要なもの(事前にご準備ください。)

・軍手・水弾器・脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト締結用のパナ又はモンキー、ペンチ等工具、サゲワリ
 ・アンカーボルトW1/2×210L、ナット×2、ワッシャー(オプションの設定もご用意ください。)

●使用ビス一覧 (各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。)

8 上枠中の組立時

ボルトM8×65メッキ
 M8袋ナット
 M8ワッシャー
 ボルトM6×18
 M6ナット(W13)
 ボルトM8×21

8 上枠中の組立時と18 プラケットの取付け時

ボルトM6×15(白)
 M8袋ナット
 M8ワッシャー
 ボルトM6×18
 M6ナット(W13)
 ボルトM8×21

9 18 上枠前補強と前板の取付け時

M6ナット(W16)

18 シャフトの取付け時

ボルトM8×60(白)
 M8ナット(白)

※シャッタープラケットに取り付けています。

梱包組合せ表

機種	基本機用	追加機用	基本機用	追加機用
部	LO5-0154	LO5-6154	LO5-0154	LO5-6154
上枠前後	一般型	積雪型	一般型	積雪型
下枠前後	一般型	積雪型	一般型	積雪型
上枠左右	一般型	積雪型	一般型	積雪型
上枠中横	一般型	積雪型	一般型	積雪型
下枠左右	一般型	積雪型	一般型	積雪型
下枠中	一般型	積雪型	一般型	積雪型
柱	一般型	積雪型	一般型	積雪型
扉	一般型	積雪型	一般型	積雪型
シャッター	一般型	積雪型	一般型	積雪型
屋根	一般型	積雪型	一般型	積雪型
補強	一般型	積雪型	一般型	積雪型
合計	24	20	24	21

梱包内容表

機種	基本機用	追加機用	基本機用	追加機用
部	LO5-0154	LO5-6154	LO5-0154	LO5-6154
上枠前後	一般型	積雪型	一般型	積雪型
下枠前後	一般型	積雪型	一般型	積雪型
上枠左右	一般型	積雪型	一般型	積雪型
上枠中横	一般型	積雪型	一般型	積雪型
下枠左右	一般型	積雪型	一般型	積雪型
下枠中	一般型	積雪型	一般型	積雪型
柱	一般型	積雪型	一般型	積雪型
扉	一般型	積雪型	一般型	積雪型
シャッター	一般型	積雪型	一般型	積雪型
屋根	一般型	積雪型	一般型	積雪型
補強	一般型	積雪型	一般型	積雪型
合計	24	20	24	21

●下枠右

部品名	数量
ELD 下枠右 A3.5	1
ELD 下枠右 A3.5 左	1
ELD 下枠右 A3.5 右	1

●下枠左

部品名	数量
ELD 下枠左 A3.5	1
ELD 下枠左 A3.5 左	1
ELD 下枠左 A3.5 右	1

●上枠前

部品名	数量
ELD 上枠前 A3.5	1
ELD 上枠前 A3.5 左	1
ELD 上枠前 A3.5 右	1

●上枠中

部品名	数量
ELD 上枠中 A3.5	1
ELD 上枠中 A3.5 左	1
ELD 上枠中 A3.5 右	1

●下枠前

部品名	数量
ELD 下枠前 A4.0	1
ELD 下枠前 A4.0 左	1
ELD 下枠前 A4.0 右	1

●柱

部品名	数量
ELC 柱 A3.5	1
ELC 柱 A3.5 左	1
ELC 柱 A3.5 右	1

●屋根

部品名	数量
ELD 屋根 A3.5	1
ELD 屋根 A3.5 左	1
ELD 屋根 A3.5 右	1

●シャッター

部品名	数量
LO5-0154	1
LO5-6154	1

●扉

部品名	数量
ELD 扉 A3.5	1
ELD 扉 A3.5 左	1
ELD 扉 A3.5 右	1

●補強

部品名	数量
ELD 補強 A3.5	1
ELD 補強 A3.5 左	1
ELD 補強 A3.5 右	1

1 基礎施工例 (参考図) 参考図は当社のホームページのデータダウンロードコーナーより入手してください。

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速:東上による陸など)にあわせて設計・施工してください。

(参考図の設計条件)
 地耐力50kN/m²
 コンクリート設計基準強度18kN/m²以上
 基準風速34m/s
 地表面相対区分Ⅱ

基礎伏図

A部詳細図

B部詳細図

C部詳細図

D部詳細図

△注意 間仕切り専用の下枠中には内孔と角孔があります。

※部材名ラベルが貼ってある方が前です。

△注意 床補強(オプション)を取付ける場合は、床補強の下枠中を固定してください。

△注意 オプションの間仕切りを取付ける場合は、間仕切り専用の下枠中を設置してください。

④ 下枠中 を下枠接続金具前中・後中の上からかませて側面をボルト止めします。

⑤ 扉間柱取付金具 を下枠中の前後の角孔に通してボルト止めします。

2 前工程

① 下枠側左・下枠側右の両端のスリット部分を内側に折り曲げます。

△注意 木口でケガをする恐れがありますのでペンチ等工具を使って折り曲げてください。

3 下枠の組立(その1)

① 下枠前・下枠後を基礎の上に設置します。
 ② 下枠側左 を下枠前・後の上から設置してボルト止めします。
 ③ 下枠接続金具前中、下枠接続金具後中 のひし形の孔を基礎のアンカーボルトに通し、下枠前・後の上からかませてボルト止めします。併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。

△注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

① 柱前左・柱後 を下枠の4隅の切欠きに入れてボルト止めします。
 ② 中柱前・中柱後 を工程③で固定した扉間柱取付金具の上からかませてボルト止めします。

△注意 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

3 下枠の組立(その2)

△注意 オプションの間仕切りを取付ける場合は、間仕切り専用の下枠中を設置してください。

④ 下枠中 を下枠接続金具前中・後中の上からかませて側面をボルト止めします。
 ⑤ 扉間柱取付金具 を下枠中の前後の角孔に通してボルト止めします。

△注意 間仕切り専用の下枠中には内孔と角孔があります。

ワンポイント 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

4 アンカーボルトの固定(両側面のみ)

① 内アンカー金具(A) を下枠側の前工程で加工した穴から差し込んで下枠側の中に入れ込みます。(4ヶ所)
 ② 内アンカー金具(L) をアンカーボルトに通してボルト止めします。併せてアンカーボルトにもワッシャーとナット×2で固定します。
 ③ 内アンカー金具(A) を差し込んだ穴を付属の(角孔フサギシール)を貼り付けて塞ぎます。

△注意 床補強(オプション)を取付ける場合は、「床補強(オプション)」の組立説明書をお読みください。

5 床の設置

① 床補強 を下枠側・下枠中の切欠きに入れて取付けます。
 ② 床板 を端から中央に向かって順番に並べていきます。

△注意 床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

6 柱の取付け △注意 柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

① 柱前左・柱後 を下枠の4隅の切欠きに入れてボルト止めします。
 ② 中柱前・中柱後 を工程③で固定した扉間柱取付金具の上からかませてボルト止めします。

△注意 柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

7 下枠中カバー前・床押えの取付け

△注意 オプションの間仕切りを取付ける場合は、下枠中カバー前は取付けません。下記工程の①は不要です。
 ① 下枠中と扉間柱取付金具を固定しているボルト(前側のみ)をゆるめ、下枠中カバー前 の切欠き部分を引っかけて締め直します。
 ② 床押え を下枠前・後にボルト止めします。

△注意 後部に取付け床押えは室内側に寄せて取付けてください。外側に入り切らないと間仕切りパネルが入り切らない場合があります。間仕切り床押えに干渉。

8 上枠中の組立

① 中柱前と中柱後の室内側のスリットに、上枠中左、中右 のツメを引っかけて仮預けます。上枠中左と中右は、かみ合わせください。
 ② 上枠中と中柱前、(上枠中受け金具前右(左))では、ボルト(M8×65)・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と積雪型とで金具形状およびボルト類使用数異なります。

△注意 上枠中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先に行って下からでも施工出来ます。

9 上枠前後の取付け

△注意 一般地型の場合は、上枠前補強は取付けません。下記工程の④は不要です。この工程で付忘れと大がかりな解体が必要です。

① 上枠前 の中央部に(桁前連結金具)をボルト止めします。
 ② 上枠前 のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
 ③ 上枠後 のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
 ④ 積雪型の場合のみ、上枠前補強 を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。

△注意 上枠前補強(積雪型の場合のみ)は上枠前補強(一般型)と左右共通です。

9 上枠前後の取付け

① 上枠前 の中央部に(桁前連結金具)をボルト止めします。
 ② 上枠前 のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
 ③ 上枠後 のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。
 ④ 積雪型の場合のみ、上枠前補強 を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。

△注意 上枠前補強(積雪型の場合のみ)は上枠前補強(一般型)と左右共通です。

